

久保・長江中学校区の学校再編に係る保護者説明会（しまなみ交流館）議事録
 （第2部）

- 1 日 時 令和5年2月5日（日） 16:00～18:59
 2 場 所 しまなみ交流館 ホール
 3 説明者 教育委員会事務局 10名
 佐藤教育長、川鱈教育総務部長、小柳学校教育部長、末國庶務課長
 三浦学校経営企画課長、石本教育指導課長、石川庶務課管理係長、
 宮崎学校経営企画課企画振興係長、安保学校経営企画課学校経営支援室長、
 玉里庶務課主任

4 進 行

担 当	内 容
教育委員会事務局	16:00～ 1 開会 2 教育長挨拶 事務局自己紹介 3 説明
保護者1	16:43～ 4 質疑応答 （質疑・応答） 今日はありがとうございます。通学路についてだが、今、1年生の娘がいて、毎日5キロくらいのランドセルを背負って通学している。20キロの子が5キロのランドセルを背負うということは、大人に換算すると、60キロの方だと15キロの荷物になる。15キロというと、缶ビール1ダースが9キロくらいなので、缶ビール1ダースと缶ビール1ダースの半分、それくらい重たい荷物を背負って通うということになる。実際に背負ってみたいと思った。私も背負おうと思ったが、リュックに入る荷物は6キロが限界で、15キロなんて背負えるものではなかった。それを小さな1年生、2年生が背負って西御所から長江中学の場所まで歩くと、1時間弱かかる。そんな距離を歩かせることが、それが望ましい教育環境と言えるのか。まだ長江学区、長江中学から近い所に住んでいる方がいいが、西御所から通う児童は本当に疲れて、疲れて、疲れ果てて、最後危険のある長江通りを上がる時にはフラフラになっていた。私の娘も肩が痛いとか、しんどいとか言って、もう一人で歩ける状況ではなかった。そこを歩かせるというのは、ちょっともう親として認められないと思った。命にかかわることなので、統合を決めてから開校準備委員会でその検討をすとおっしゃっていたが、それでは納得できない。本当にその安全を確実なものにしてから統合を決定していただきたいと思う。 あと、学校の校舎の場所だが、長江中学校の場所よりも久保小の跡地の方がレッドゾーンやイエローゾーンが少ない。一番最初、統合案を出された時は、久保小学校の跡地に統合校を作るとおっしゃっていた。ということは、久保小学校に作るということが可能というか、できるということ

<p>教育委員会事務局 (小柳学校教 育部長)</p>	<p>だと思ふ。さっきの説明で、久保小の跡地にした場合、引っ越し回数が増えるとおっしゃっていたが、引っ越し回数を減らして、今の仮校舎のまま何年か過ごして、久保小に新設校ができて引っ越せば一回で済むと思ふ。なので、やっぱり子供の安全、命にかかわること、いろいろ課題があるので、しっかりそこを明確に、保護者が安心して納得できるものとしてから決定して欲しいと思つた。</p>
<p>教育委員会事務局 (末國庶務課 長)</p>	<p>私の方からは、子供たちの安全対策についてお答えする。まずは子供たちの荷物の重量の問題、保護者の方や議会の方からも様々な声をいただいている、今、子供たちはタブレットの持ち帰りもしているので、荷物の軽量化を全校図っている。なかなか保護者の方が実感として思われているところまでは、今の声を聞くと思われていないということだが、市内全体としてはかなりの軽量化を図っていて、持ち帰りの荷物もかなり減らしている状況がある。それから、それを背負って長時間歩くということ、やはり特に夏場等も考えると、本当に子供たちの安全・安心を考えると、通学対策は、そういったことも踏まえて考えなくてはいけないのは認識しているし、第1部でかなり出た長江小学校の安全対策、長江通りの安全対策も含めて検討している。今の段階で各方面と調整している中身は、今日お示しさせていただいた範囲なので、また調整ができた部分等については、教育委員会が皆様に責任をもって提示させていただかなければならないと考えている。</p>
<p>保護者 2</p>	<p>久保小学校の敷地に建物ができるのではないかという意見については、当初、提示した段階では、久保小学校へ移転ということで提示していた。当然、建物が建てられるか、建てられないかということで言えば、施設の建築は可能。ただ、進め方の部分で負担が少なく進めていく。しかも負担が少ないと同時に仮校舎に長くいることも否定的なご意見がたくさんいただいている。ですので、できるだけ早く負担が少なく移転していただく方法ということで、このたび提案させていただいた。</p>
<p>教育委員会事務局 (川鱒教育総 務部長)</p>	<p>先ほどの質問に対する回答でいくと、負担が少なくということだったが、それよりも通学が心配だと言うことを先ほどの方は述べられたと思ふ。なので、もう決定したという言い方ではなくて、旧久保小学校の敷地も含めた形で検討はしていただけるのか。</p>
<p>保護者 2</p>	<p>今までたくさんそういった意見をいただいた中で、我々も先ほどの説明にあったように、今までの経緯もあるし、久保小学校はどうかということも検討した。様々検討していく中で、今の通学の話とか、中学校の移転、統合の話、こういったところも含めて総合的に考えて、教育委員会としては、今ご提示をした現長江中のところに3小学校を統合する案が最もふさわしいだろうというふうに提案を差し上げている。</p>

<p>教育委員会事務局 （小柳学校教育部長）</p>	<p>させていただいたが、ホームページで拝見したが、その中には、交通安全の設備、整備の中に、ガードレールなどを設けていきたいと書いてあった。長江通りもガードレールの設置はしてもらえるのか。</p>
<p>保護者 2</p>	<p>総合教育会議の資料ということで、何年の総合教育会議の資料か承知していないが。</p>
<p>保護者 2</p>	<p>令和3年だったと思う。</p>
<p>教育委員会事務局 （小柳学校教育部長）</p>	<p>今そういった資料をもっていないので、ちょっと分からないが、長江通りにガードレールの設置というのは、今の段階では道路の幅とか様々な要件があるので、今のところはガードレールの設置というところは、対策上は難しいのではないかという認識でいる。</p>
<p>保護者 2</p>	<p>道幅で一番狭いのは何メートルになるのか。</p>
<p>教育委員会事務局 （小柳学校教育部長）</p>	<p>申し訳ありません。今一番狭いのは何メートル、何センチメートルということはお答えできないが、2車線化出来ないということなので、8メートルより狭いところがあるのではないかといったところしかお答えできない。</p>
<p>保護者 2</p>	<p>たぶん2校で70億近いお金が建設費にかかると思うが、一回建てたものは当然のことながら動かさないで、通学路も含めてその場所が本当にふさわしい場所なのかどうか、そのあたりの協議をまずしていただきたいと思う。交通量ももちろん多いし、大型バスも通るので、長江小学校のアンケートに保護者の方が記入されていたが、子供の荷物が登下校の時に車に当たったと書かれていたので、もちろんそれは読まれていると思うが、統廃合の話があまりにもスケジュールありきで進んでいると思えてならない。もっと熟慮して決定していただきたいと思う。</p> <p>長江中の敷地だが、以前、市教委からもらった2019年にももらった資料で、長江中学校の敷地は、土砂災害の警戒区域に入っているから計画はできないということで話が進んでいたのに、この度また土砂災害警戒区域にもかかわらず新校舎を建てるのはおかしい話だと思う。それと、長江中学校の北側の道路は崖があって、敷地があって、崖があって、道路があって、また高い石垣がある。あそこは土砂災害警戒区域に該当するのではないかと思っているが確認されているか。</p>
<p>教育委員会事務局 （末國庶務課長）</p>	<p>土砂災害警戒区域、特別警戒区域の長江中学校敷地についてのご質問について、長江中学校の方の敷地・・・。</p>
<p>保護者 2</p>	<p>グラウンドの方。</p>

教育委員会事務局（末國庶務課長）	まず順番に、校舎の方から説明させていただきたいがよろしいか。
保護者 2	はい。
教育委員会事務局（末國庶務課長）	<p>長江中学校の校舎の方は、土砂災害警戒区域が含まれている。こちらは、2019年に話した時はそこを建て替えるという前提の話だったが、この度は一時的に既存校舎を利用させていただくということで話をさせていただいている。というのも既存校舎は、市内の6割以上の学校は、今現在、土砂災害警戒区域、特別警戒区域に学校の敷地が含まれているものもある。そういった中で、既存校舎の安全性については、現在の段階では、避難確保計画をそれぞれの学校で立てさせてもらっている。それは法律で定められているもので、避難確保計画を立てて、既存校舎に対してはそちらで対応させていただく。そして今後新たに施設整備を行うものについては、そういった場所を避ける形で施設整備を行っていくという形で進めさせていただいている。</p> <p>あと、グラウンド側の土砂災害警戒区域、特別警戒区域については、グラウンドの南側に墓地があるが、土砂災害警戒区域になっているところがある。そういった場所については、今回の計画では、体育館の方も再整備をしないといけないと考えていて、体育館の方もそちらのエリアからはずした形で施設整備が行えるように考えている。</p>
保護者 2	長江中学校グラウンドの北側も30度以上の勾配で5メートル以上の崖に該当すると思うので、土砂災害危険区域か、土砂災害特別警戒区域に該当すると思うので、課が違うと思うが、確認していただけるか。
教育委員会事務局（末國庶務課長）	ご指摘していただいたところは確認する。
土堂小学校保護者 3	<p>複数学級を今日のスライド資料で見せていただいたが、1学年複数学級により、個別最適化した教育環境の実現と書いてあるが、基本的に複数学級をということで推していると思うが、今日出していただいた資料の中で、見間違いでなければいいが、令和10年度の小学校1年生で学級数が1になっている。7年度に統合して10年度に1学級になっていて、この10年度だが、3年生と4年生で36人ずつになっているので、次の令和11年度は出していただけないが、1クラスになる可能性が高いと思う。はっきりした数ではないと思うが、3小学校の区域だが、土堂小学校もなくなり、長江小学校もなくなり、子育てしたいと思った世代の方が引っ越してくる可能性が少ないと思うので、そうなってきた時に、今後児童数が増えるのかと言ったら、その可能性も少ないと思う。統合から4年後をどのように考えているか。</p>
教育委員会事務局	尾道市教育委員会は、平成23年12月に学校再編計画を出させて

局（小柳学校教育部長）	<p> いただいて、これまで因島、瀬戸田、北部地域、複数学級化を目指してやってきたという経緯がある。そういったことで今回の再編について考えていった。まずは中学校区をどのように考えるかということも検討したし、中学校区で再編を考えた場合には、長江中学校区の場合には、長江、土堂を加えても1クラスということなので、これではまだ第二の再編が必要になってくるのではないかとということも考えた。あまりにも広い中学校区を一つにするのは、先ほども距離の問題とかご意見いただいたが、子供たちにとって通学の負担というのは、遠い学校ほど負担が増えると思っている。そういった中で2つの中学校区を1つに合わせることによって、ある程度の子供たちの学習環境を整える3つの小学校の統合、それから当面2学級規模の山波は1つの学校として残させていただき、それで2つの中学校を統合した学校に進学していただく案を立てた。おっしゃられるとおり、令和10年27人ということで、これが大幅に増えない限り2学級にならないが、今後の児童生徒数も見させていただきながらとは思いますが、現状では開校時には、ある程度複数学級化ができて、中学校区の距離とか通学の距離とか、様々なことも考えて今こういった提案をさせていただいた。これ以降については、今現在、生まれていない、現に出生している方から算出しているので、令和11年度の数字については、今の段階ではお示しできないが、来年度にはお示しできると思う。心配していただいているのはありがたいことだが、たとえ人数が1学級になったとしても、開校当時のものは受け継いでいく覚悟で新しい学校をつくっていかうと思っている。 </p>
土堂小学校保護者3	<p> では、今全面に複数学級というのを出しているが、ここに関してはあまり重要視していないということか。 </p>
教育委員会事務局（小柳学校教育部長）	<p> 先ほども申しましたように、尾道市の学校再編については、複数学級化を目指して子供たちの学習環境を整えていくということで、これまで多くの地域にご理解いただきながら進めさせていただいた経緯がある。統合した学校で当初2学級だった学校も少子化に伴って今1学級が学校の中にある学校もある。そういった実態はあるが、教育内容面や教育活動の質を落とさないように教育委員会としても様々な取組をしている。 </p>
土堂小学校保護者3	<p> 複数学級に関してだが、土堂小だが、今うちの子が3年生だが、1クラスで32人。一番最初に入社説明会の11月か10月だったと思うが、幼稚園の時に参加させていただいたもので、栗原小学校に転校するとかしないとかいう問題が出てきて、実際学区だった子だったり、お兄ちゃんお姉ちゃんがいて兄弟関係の子だったりとか、入学していれば2クラスの学年だったはず。学区の子がその問題があったので来ていないだったりとか、選択制がなくなったので、2クラスにはなっていないと思う。今までどおりの2クラスを続けていただければ、土堂小学校単体で存続が可能だったと思う。それを無くなってしまったがために、人数が減ってしまっているという現状になっているが、存続はしない </p>

	<p>と一言だけしか書いていないが、それでは納得いかないという部分。学区の再編の最初にいただいた質問に対しての答えのところ、今資料は皆さん持たれているか。</p> <p>21番の質問だが、「校区を見直せば複数学級を維持できるではないか」という質問で、「生徒数を増やす目的で中学校区を見直すことは考えていません」と書いてある。生徒数を増やすという目的ではなくて、実際隣の日比崎小学校は、今仮校舎を建てないといけなくらい生徒数が増えていると思う。イオンの所にマンションが建ったり、栗原通りにマンションが建ったりという形で生徒数がこれからも増えていくと思う。今、土堂小学校を無くしてしまっ、これからどんどん日比崎小学校の生徒が増えていく。ここが、生徒数を増やす目的でということではなくて、もっと先を見据えて考えて行くべきだとずっと思っている。教育委員会のホームページで2年前くらいに確認した資料だが、これから10年後子供が増えていく地域というので、日比崎小学校区を教育委員会で見直されていたので、それを見て増えるんだろうなと思っ、それからまた後でマンションが建っていたりする、その見直しをもっと違う目的で考えていただくべきだと思うがいかがか。</p>
<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>通学区域の見直しについての意見だったと思う。現状、日比崎小学校はもうピークを越えて減少傾向ということで、1学年2学級規模の学校に移行している段階となっている。最大規模は、全学年3学級規模という時もあったが、今2学級規模の学校になりつつある。それはそういう現状だが、またいつどういう状況で増加するかは当然分からないということはある。校区の見直しについては、これまで私どもも議会等でも質問を受けて答弁させていただいているが、やはり今の日比崎中学校区。もともとは今の栗原小学校区、日比崎小学校区のところは栗原小学校区だったと認識しているが、地域で育てその地域の学校を卒業されている、そういった卒業された方々の思いをしっかりと汲み入れていかなければいけないということですから、そう簡単に校区を変える、通学区域を変えるというのはなかなかご理解していただけないのではないかなという認識で、これまで地域の声も聞かせていただいた。ですから、今のところ日比崎小校区をどのようにするかというようなことは検討もしていない。</p>
<p>土堂小学校保護者3</p>	<p>今後も検討いただけないということか。</p>
<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>（うなずく）</p>
<p>土堂小学校保護者3</p>	<p>であれば、土堂小学校区にも卒業した人たちがたくさんいるので、その意見ももう少し聞いていただけたらと思う。</p> <p>あと、資料31番の質問のところだが、久保小学校に移転するかどうかという話のところの回答のところ、気になった。中学校が、久保中</p>

<p>教育委員会事務局（川鯨教育総務部長）</p>	<p>校敷地、小学校が久保小学校敷地と久保地区に学校が集まる形が懸念されるということだが、この懸念の内容が何なのか知りたい。先ほどの方も言われていたが、小学校が長江小に統合されるのであれば、久保の方が安全なのではないかと思っている。2つの学校が集まる形が懸念される、その懸念と子供の安全と天秤にかけた時に、その懸念という内容は何なのかと思うが。</p>
<p>土堂小学校保護者3</p>	<p>中学校については、久保中を選択したという説明。先ほど申しましたように、小学校については、当初久保小と提案した時期もあった。それを全く白紙に戻して、改めて中学校と小学校、この統合ということも含めて検討した。その時にやはり小学校は長江の方が妥当であろうという判断をしたということ。</p>
<p>教育委員会事務局（川鯨教育総務部長）</p>	<p>質問が、小学校と中学校が同じ久保地区に学校が集まるということが懸念されますという、その懸念は何なのかという質問。小学校区と中学校区が集まる形が懸念されると書かれているが、この懸念は何ですかという質問。</p>
<p>土堂小学校保護者3</p>	<p>やはり同小学校区、同中学校区、同じ地区内に2つの学校が集まるということについて、各地域、保護者等のご理解が得られるかどうかということも併せて総合的に考えた。</p>
<p>土堂小学校保護者3</p>	<p>それは地区に学校がないからということか。</p>
<p>教育委員会事務局（川鯨教育総務部長）</p>	<p>中学校区で考えると、全てが久保中学校区に移転するというところで、長江中学校区から学校がなくなるということも当然考慮材料の一つであったというところ。</p>
<p>土堂小学校保護者3</p>	<p>それはちょっと分からないが、無くなるのが何か問題なのか。</p>
<p>教育委員会事務局（川鯨教育総務部長）</p>	<p>その点を当然考慮の一つであったということが言いたいわけであって、それが決め手ですとか、そういうことを今表現しているわけではなくて、判断の材料の一つであったという風にご理解いただきたいと思う。</p>
<p>土堂小学校保護者3</p>	<p>分かりました。そこで、複数学級化で教育環境を整えるためと書いてあるが、今うちの子は3年生だが、千光寺公園に上がる時に、小学校で仮校舎に上がり、小学校6年生で仮校舎の統合学校に移動し、中学校に入学する時も仮校舎で中学校に入学し、最後、新校舎ができあがったであろうところで、卒業するという流れだが、早急な教育環境を整えるため、度々の移動の方が、子供たちにとっては環境の変化を考えると負担になっていると、今子供の声を聞いて思う。今この問題が出始めてから、子供たちは教室の中で、みんなと一緒に中学校に行けないとか、実</p>

<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>際小学校が統合するかもしれないということに対して引っ越しを考えている家庭もあるようなので、一緒に卒業すらできないのではないかとこの心配を抱えて、毎日学校に通っている。早急な教育環境を整えるためとあるが、今の子供たちの気持ちももう少し考えていただければと思う。そもそも令和7年の統合にはあまり賛成していなくて、せめて統合するのであれば、新しい校舎が出来上がってから、新しい気持ちで通わせてあげたいと思っている。子供の気持ちが今ちょっと置き去りになっているのではないかなと思って、正直不信感でいっぱいだが、もともと仮校舎に上がる時に、統合問題は白紙になったと思うが、統合案を令和元年11月にお示ししましたと書いてあるが、この時点ではいったん白紙になっているので、子供も仮校舎に上がった時点で、もう一度下の校舎に戻れるのではないかとみんな思っていた。今ここで突然の資料が出されて、こういう案をお示ししているだけですよと言われるが、説明に対して質問しても、スケジュールありきの説明に感じてしまうので、もっと子供の気持ちを考えた進め方をしていただけたらと思っている。子供の気持ちは考えていただいているのか。</p>
<p>山波小学校保護者4</p>	<p>当然そこで学ぶ子供たちが、生き生きと元気に学んでいただける環境を作っていくのが教育委員会の責務だと思っている。そういったことも感じさせていただいて、今回提案させていただいている。令和7年度ということで提案させていただいているが、これは仮校舎をお願いした時に、4年間という時間をいただいたという経緯がある。ですから、令和7年4月をめざしてというのは、過去にも言わせていただいでいて、皆様との約束事項だったという認識でいるので、私たちも何とか保護者の皆様は今不自由な思いをさせている子供たち、仮校舎で学んでいる子供たちなので、できるかぎり早く仮校舎の状態から本校舎で学んでいただきたいということで、令和7年度、令和9年度という2つの区切り目を示させていただいている。私たちは当然スケジュールありきで話をさせていただいているわけではない。ただ、一定のスケジュール感を示して欲しいということだったので、スケジュール感もお示しさせていただきながら、私たちの統合案についてご理解いただく資料として今回も示させていただいている。本当に子供たちの気持ちや様子を私たちも常に気にしているし、学校にも何度も行かせていただく中で、子供の今の学ぶ環境等も見させていただいている。今後も子供たちを決して置き去りにすることなく、当然子供のことを第一に考え、環境整備、教育内容の整備に努めさせていただきたいという気持ちは変わらない。</p>
<p>山波小学校保護者4</p>	<p>疑問に思った点があったので質問させていただく。今回、学校再編の枠組みの検討理由の中で、三小学校の統合校が、令和10年で一クラスになると先ほどの方もおっしゃっていたが、その時に山波小学校と統合するという可能性はあるのか。また検討にあたっての考え方とところで、安全性の確保。山波小は、土砂災害警戒区域に指定されていて、現に運動場に土砂崩れもあった。校舎の耐久性のところ、今の校舎を使用する場合、これから先もっと老朽化が進むと思うが、そうなってく</p>

<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>ると長江中、長江小学校の所に校舎を建てられて、もし将来的に山波小学校も統合するという事になった場合に、山波小学校の子たちは、そこまで通わないといけないことになるのか。</p> <p>先ほどの質問だが、私の方からは、今後の統合の可能性とか、そういった質問に対してお答えさせていただく。今回、この2中学校区の再編の時に、当然、山波小学校も統合して一つの小学校にできないか、また、義務教育学校化ができないかなど、様々な検討をさせていただいた。当面、山波小学校は、2学級複数学級が維持できるということで、統合の枠組みには入らないという判断をさせていただいて、今の結論に至っている。今のところ、このような案を示させていただいたので、短期間でというか、そういったところでの山波小学校の第2の再編ということは、現時点では考えていない。ただ、皆さんもご承知のように、かなり尾道市内の出生数も減少しているので、そういった場合に、市内全体で学校の在り方が、どのような在り方がいいのかというのを検討する時には、当然市内全部の16中学校区の中で、検討の土俵には乗ってくるのではないかと思う。それは当然短期間でできるものではないし、まだまだそこまでの考えは至っていないので、当面山波小学校は今の状態で継続していただく。ただ令和7年度からは、小中一貫教育校として、新しい学校とともに一つの中学校区として、さらなる高みをめざしていこうと考えている。</p>
<p>教育委員会事務局（末國庶務課長）</p>	<p>続いて、山波小学校の敷地の土砂災害警戒区域、特別警戒区域の部分。まず、山波小学校は、ご承知のとおり、平成30年の豪雨災害の際にグラウンドの端側、東側とグラウンドの北側に土砂崩れが発生していて、一部土砂が、一部の部屋に土砂が流入するという事も起こっている。そういった状況であるので、決して安全だとなかなか申し上げにくいところだが、ただ、土砂災害警戒区域、特別警戒区域というところは、全市的に分布していて、こちらの部分については、学校のような施設の場合は、必ず学校で避難確保計画というものを立てなさいという風に法律で決まっている。そういった法的な部分、それからソフト面で、例えば、この教室は、この時期は使わないようにしようといったソフト面による対応をしていかざるを得ない状態なので、こちらについては、引き続きそのような対応をさせていただければと思っている。</p>
<p>山波小学校保護者4</p>	<p>いずれはもしかすると、統合を検討する必要があるということか。山波小学校も。そうなると、山波に住んでいる子たちは、長江の所に小学校が建設されたら、そこまで通わなければならないことが、なきにしもあらずということ。であれば、久保小学校の所に校舎を建てていただいた方が良くはないかと思うがいかがか。</p>
<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>先ほど申したように、現在の学校再編の枠組みで、将来的にどの段階で、山波小学校の新たな再編になるか、当面分からないという状況なので、私たちとすれば、山波小学校は単独で当面残すという判断をさせていただいた。ですから、今の新しい中学校と新しい小学校をどの場所に</p>

<p>長江小学校保護者5</p>	<p>建設させていただければ一番子供たちにとってよい学びができるかという視点で検討させていただいて、今回提案させていただいている。</p> <p>小中一貫教育、今日前の質疑の紙を持って来なかったのも、もし重複していたら申し訳ないが、小中一貫校というのは、尾道としては初めてということでよいか。もし初めてなのであれば、なぜこんなに大きく環境が変わる、この統合校で第1回の小中一貫教育をされようと思ったのかというのが疑問なのと、ここの小中校区は、新しい統合校と山波小学校と2つに分かれているので、敢えてなぜその学校を選ばれたのか。他にも例えば、日比崎小学校とか、向東、あまりこの学区は分からないが、同じ小学校の子が、同じ中学校に行かれるケースの校区、他にもある。なぜその小学校でされようと思わなかったのか。もしこれがすごく教育的に効果があると分かるのは、いつか分からないが、効果があるとなった場合、同じ取組をされようと、今の時点で考えられているのかどうか。あと、なぜ私がここで小中一貫校をやろうと思ったのか気になったのが、うちの下の子が3年生で、ちょうど6年生になった時に統合する予定。このスケジュールでいけば。高学年になった時に、教科担任制の導入と書かれているので、今も長江小学校なので、理科の先生が中学校から来られたりして、それはすごく楽しいことだと子供たちも言っていて、いい取組だと思っているが、教科担任制が何教科になるか分からないが、子供もメンバーも変わって、場所も変わって、教育方針も変わって、教科ごとに先生が替わって、結構大きな変化で、それに受け止めきれない子供が、もしかしているのではないかと心配している。以上、質問がたくさんあったが、願います。</p>
<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>順番でお答えするが、もし漏れていたらご指摘いただければと思う。この小中一貫教育校構想というのは、尾道市としては初めて。県内では、先ほどお配りしたQ&Aで、いくらか説明させていただいた。なぜこの統合校で新しいことをするのかということだが、新しい学校を創る時が、まさに新しいことをするチャンスだと思っている。この小中一貫教育校というのは、何回も同じことを繰り返しているが、9年間の連続性というのをすごく大切にしている。ですから、今の状況で言うと、小から中の時に一つ区切れとして、教育内容の連続であったりとか、教員の指導方法だったりとか、様々な段差が出てくる。しかし、この9年間を同じ学校教育目標や教育研究の中身とか、生徒指導の規程、そういったものを全て統一していくことで、9年間指導に差がなくなる。子供たちにとっては、同じ指導のまま卒業できるというメリットがあると考えている。ですから、教育課程を合わせていたりとか、教育内容や教育活動面に重なりや無駄がなくなるということなので、まさにこの統合の時に、そういった中身を学校と教育委員会で議論することが一番有効ではないかと思っている。それから、山波小学校とともにということだが、新しい中学校区になるので、1中学校と中学校に行く新設学校と山波小学校は、足並みを揃えて同じ中学校に進学していただきたいということで、分離型というタイプにはなるが、小中一貫教育校とさせていただきたいと思っている。今回市内では初めての取組になるが、</p>

	<p>やはり先ほども申しましたように、じゃあ、なぜ日比崎じゃないのかとか、いろいろ思われていると思うが、まさに新しい学校を作る時がチャンスだと教育委員会として捉えているので、この新しい学校を創る時にさせていただきたいと思っている。私たちも広島県内の先行自治体等に実際に行かせていただいたり、調査させていただいたりしているが、やはり中学校への段差がない、9年間で統一した指導ができるので、教育的効果が上がるという、それぞれの教育委員会や学校からのご説明いただいた。この取組をまさに尾道の教育モデル、スタンダードとなるように、今後は全校に広めていきたいという考えをもっている。</p> <p>それから、教科担任制の導入等、統合の時には、子供たちが一つの集団になるというのは時間がかかると思う。教科担任制で言うと、これは中学校の良さにつながるが、一人の子供に対して複数の教職員が関わっていけるというメリットがあると思う。逆に学級担任制の良さというものもあるので、説明の中に移行期というのがあったと思うが、小学校の学級担任制から中学校の教科担任制につなぐ5、6年生の時期は、過渡期にしたいというか、中学校にも段階的に慣れていく、中学校の指導方法に慣れていく期間とさせていただきたいと思っているので、教科担任制の教科については、教員の配置状況や、学校とこれから話していく中で、どれくらいの教科を教科担任制にするのがふさわしいのかとか、様々検討させていただく中で、子供たちの負担にならないような内容で、スムーズに小から中に段階的に移行できるような中身にしていただきたいと考えている。</p>
<p>長江小学校保護者5</p>	<p>もう一つ、新しい学校形式になる時に、これに長けた教員の方が新しく入ってくるのか。それか、今の教員の方たちが、このやり方をあと2年の間で学んで導入されるというつもりか、どちらか。</p>
<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>これは、ある程度統合の機運が高まった時に、開校準備委員会で、保護者の方や、地域の方も交えて始まると思うが、それとほぼ同時期になると思うが、教職員も小中一貫教育校の研修を行いながら、ふさわしい教育課程、様々なものについて、新しい学校をイメージして作成していくようになると思う。ですから、基本的には、来年度学校にいる先生方が中心となって立案等していくので、そういった先生方が、自分たちの創った様々なもので学校運営していただければという思いが強い。それと、これは尾道方式と言えるのか分からないが、これまで市内で統廃合した学校については、子供たちとの関係性から、必ず統合する学校から教職員を新設校に来ていただいて、子供たちの教育にあたっていただくというのを基本としているので、まさに教育内容を創った先生に、新しい学校に来ていただいて、子供たちとつながりのある先生に来ていただいて、教えていただくことを今の段階ではイメージしている。</p>
<p>土堂小学校保護者6</p>	<p>先ほど末國課長が言われていた避難確保計画について聞きたいが、具体的にどういった内容で、何をされているのか。レッドゾーンに指定されている警戒区域とか特別警戒区域にある学校運営のことだったと思うが、何をすればそういう状態で学んでいるか。それをすれば学べる</p>

<p>教育委員会事務局（末國庶務課長）</p>	<p>のであればということだが、準備期間の間に長江中学校の校舎を用いて学ぶわけか。だとしたら、現状になる前に、それぞれの元々の小学校において、耐震して、それを用いて学べたのではないか。</p> <p>質問にお答えする。まず、避難確保計画については、私も詳細は説明できないが、土砂災害警戒区域、特別警戒区域の中に所在する学校などの施設については、そういった学校の中にいる人たちの安全を確保するために、そういった計画を作りなさいということが義務づけられている。それが、避難訓練等に生かされていると認識している。そういったものがあれば元に戻れるのではないかという話だが、既存の校舎を活用する場合は、そういったことで全てが使えません、明日から使えませんというわけにはいけないので、安全確保策を各学校でとりなさいということで整理されているが、今後新しい施設を整備するといった場合は、土砂災害警戒区域をかわせるのであればかわして施設を整備しますよということで対応を進めさせていただいている。では、技術的に今の土堂小学校の敷地に戻ることが技術的に可能なのかということについては、技術的なことは可能だが、今後の学校の在り方等について考えた時に、今の統合案が望ましいということで提出させていただいている。</p>
<p>土堂小学校保護者6</p>	<p>学校設置条例改正とあるが、それは何をするのか。</p>
<p>教育委員会事務局（川鯨教育総務部長）</p>	<p>設置条例自体は、学校の名称、位置を決める条例。その条例を改正する必要がある。ですから、それまでに開校準備委員会等を通して、学校名を決めていかなければいけない。それに基づいて校旗とか校歌とか、こういったことも併せて検討していくということ。ですから、設置条例自体は、先ほど言ったように学校名及び学校の位置を決めるもの。</p>
<p>土堂小学校保護者6</p>	<p>先ほどの避難確保計画だが、結果耐震補強してある警戒区域で学ばせる期間があるのであれば、先ほど未来のことを考えていただいている中で、とりあえず一旦児童たちを各学校に戻していただいで、今のうちに耐震補強をして、その間にゆっくり、じっくり、各該当小学校の地域や保護者の皆さんと話をしていけばいいのではないかと単純に思った。結果学ばせるわけですね。そういう状況の所に。元々帰れるではないか。耐震しているレッドゾーンの校舎で学ばせる期間があるんですね。新築ができるまで。</p>
<p>教育委員会事務局（末國庶務課長）</p>	<p>長江中学校、今の校舎、現校舎については、警戒区域が一部含まれていることは、先ほど少し説明させていただいた。その警戒区域にある所で一時的に・・・。</p>
<p>土堂小学校保護者6</p>	<p>まあ、そのへんのところについては、仮校舎の崖とか、そのへんのレッドゾーンなど、分かりませんが、そういった所で学ばせるという選</p>

<p>教育委員会事務局 (川鯨教育総務部長)</p>	<p>択をさせるのであれば、耐震補強して、元の学校に戻してあげたらどうか。それから話をしませんか。</p>
<p>土堂小学校保護者6</p>	<p>言われていることは、土堂を耐震化しませんかという提案か。</p> <p>何ていうか、長江に新築できる前に、準備期間として学ばせるわけですよね。あそこで。それができるのであれば、土堂小学校、長江小学校、久保小学校を耐震して戻してあげたらどうか。将来的に統廃合が嫌だと言っているのではなくて、尾道の未来のことを考えていただいているのは分かるが、結局耐震してあるか、していないかだけではないか。県に指定される前に、学校設備を新たに耐震しないという目安はそのへんでしたよね。県に指定されたか、される前か。だから、土堂小学校は耐震しないということではなかったか。古いということもあるのかもしれないけど。ぼくが言いたいのは、耐震してあるけれどレッドゾーンの所に通わせる期間があるのであれば、それぞれの各小学校に戻してあげたらどうかということを言っている。別に土堂小学校を耐震して元通りにしろと言っているのではなくて、とりあえずそれで戻って、馴染みのある校舎で学ばせている間に、避難確保計画を用いて学校運営すればいいではないか。その間に将来のことを話し合いませんかと思っているわけ。</p>
<p>参加者</p>	<p>(拍手)</p>
<p>土堂小学校保護者6</p>	<p>別に嫌なわけではない。統廃合が。子供だっていろんな可能性が出てくるだろうし、先ほども言われた、人が増えればクラス替えもあるだろうし、固定化につながらないとか、メリットもデメリットもある。とりあえず耐震化して、避難確保計画を用いて3年でも4年でも話合いをしたらいいではないか。今のうちにしましょうよ。耐震補強を。状況一緒でしょ。長江で学ばせること。</p>
<p>教育委員会事務局 (川鯨教育総務部長)</p>	<p>従前、今の提案に至る以前の話は、いかに3小学校を耐震化していくか、耐震化という議論から、議論を進めて提案し、説明させていただいていた時もあった。ただ、今は3小学校2中学校を含めた、山波を含めれば4小学校を含めた在り方、どういった耐震性とか、学校の長寿命化とかいうところだけではなくて、あるべき学校の姿、何を指すのかといったなかで、その総合的な判断の中で、今の提案に至った。ですから、従前の耐震化の議論をしていた時とは、今の提案は考え方は全く違うということをご理解いただいて、あるべき学校の教育環境はどうか、そのなかで、耐震化を諦めてというか、耐震化ではなく新たな学校の統合を含めた形の施設整備もしていきたいという考えで提案を差し上げているところ。耐震化とか、そういう部分とは違う。</p>

土堂小学校保護者 6	別に耐震をして、ずっと学ぼうと、そういうことではなくて、長江中学校で、事前準備で、そこに引っ越すのであれば、土堂小学校も耐震して、長江小学校も耐震して、久保小学校も耐震して、元にもどしてあげたらいいではないか。それで、話し合いしましょうよ。今後の、今次元が違いう話を。児童数の減少によるそういう問題が発生してあるのであれば、尾道市として、何か条例改正ではないが、変えられることがあったら、人が増えるかもしれないではないか。ぼくは、学校設置条例が何かとんでもないことをやらかすのではないかと聞いたが、校歌を決めるとかそういうレベルの話なのか。
教育委員会事務局 (川鯨教育総務部長)	校歌とかではなくて、学校名をきちっと条例上、条例にうたう。設置の位置、場所、学校名、これを決めていく条例の改正。
土堂小学校保護者 6	ぼくが思うのは、避難確保計画さえ国の指導どおりすれば、一時的に学ばせられるということに、ちょっと。そんなだったら、元の学校に戻してやということが言いたいわけ。先のことを考えるのは、それはそれでちゃんとする。なんだったら千光寺に行かなくてよかったという話ではないか。長江だって、久保だって。その避難確保計画さえもってすれば、学ばせられるんでしょ。一年間学ばせるんでしょ、長江で。おかしいのではないか。
教育委員会事務局 (末國庶務課長)	耐震化と土砂災害のことと少し混同されている部分があるのかもしれないが。
土堂小学校保護者 6	そうですか。
教育委員会事務局 (末國庶務課長)	基本的には、私どもの方は、仮校舎に移転していただくということについては、耐震性のある仮校舎に一刻も早く移転していただくということでお願いさせていただいて・・・。
土堂小学校保護者 6	それ、現状でしょ。
教育委員会事務局 (末國庶務課長)	はい。それで、その後どうしていくかということについては、また改めてご提案させていただくということで、今こういった形で提案させていただいたものを説明させていただいている。

土堂小学校保護者 6	<p>話がずっと昔の根っこからいるわけではないので分からないが、こんなだったらこうしとけばよかったのにということを後から言われるので、気になったから言った。学校が危ないからよそ行ってくれということでよそへ行った。それだったら、その間に直して、避難確保計画をもって、戻して、それから未来の話をしましよ、その方がスムーズにいらったと思うが。</p>
教育委員会事務局（末國庶務課長）	<p>それも一つの考え方だと思うが、私どもはそうではなくて・・・。</p>
土堂小学校保護者 6	<p>それだったら、子供の方が負担が少なかったと思うが。その仮校舎に移転するとか、お金の面でもいろいろ相当かかったと思う。結局耐震できません、できませんの理由をたくさん述べられて、してくれなかったが、やりたいことはどんどんやってきているのではないか、今。だったら耐震して、避難計画もって、戻りませんか。3小。で、将来的に山波小の児童数の増減は分からないが、そこらへんも含めて将来のことも考えて、統合するならそこらへんの小学校の建設地をしっかりと考えた方がいい意見がでるのはないかと思う。</p>
教育委員会事務局（末國庶務課長）	<p>もちろんご意見としては・・・。</p>
土堂小学校保護者 6	<p>ぼくがとんちんかなことを言っているか。だとしたら教えてほしい。</p>
教育委員会事務局（末國庶務課長）	<p>もちろんそういった選択肢の話も求めておられる方がいらっしゃることは承知している。</p>
土堂小学校保護者 6	<p>耐震補強はしているけど、危険区域にあたる校舎で学ばせるわけですよ。それは、避難計画をもって対応するんですよ。</p>
教育委員会事務局（末國庶務課長）	<p>そうですね。</p>
土堂小学校保護者 6	<p>だったら、戻せばいいではないか。今のうちに。何億かけてチャチャッとやればいいではないか。各小学校を。それから話をしましよよ。</p>

<p>教育委員会事務局（末國庶務課長）</p>	<p>そういうご提案もあるが・・・。</p>
<p>土堂小学校保護者6</p>	<p>ここで終わるのか、その話は。</p>
<p>教育委員会事務局（末國庶務課長）</p>	<p>我々はそうではない提案をさせていただいているということで、今回、本日のことになっていることにご理解・・・。</p>
<p>土堂小学校保護者6</p>	<p>ん？そこで学ぶんですよね。長江の。避難計画をもって。</p>
<p>教育委員会事務局（末國庶務課長）</p>	<p>はい。</p>
<p>土堂小学校保護者6</p>	<p>具体的に何をするのか。避難訓練とか、それだけ？</p>
<p>教育委員会事務局（末國庶務課長）</p>	<p>そんなことはないだろうが。十分今ご説明できないが。今法的にはそうなっていますよというご説明だけに、本日は留めさせていただければと思う。</p>
<p>土堂小学校保護者6</p>	<p>ぼくはそうしてほしい。とりあえず児童たちを各小学校に戻してあげましょう。お願いします。以上。</p>
<p>土堂小学校保護者7</p>	<p>先ほどの方の話ではないが、うちの娘は土堂小を見るたびに、「いつ耐震補強するん？耐震補強すると言ったから上に上がったのに。」と言う。「友達とも遊びながら通学したいのに。」と何回も言う。教育総務部長が、「今そういった次元の話じゃない。」と言われたが、白紙のまま耐震化をどうするかと言っていた時に、今後のことを何も言わずに白紙のまま押し切って千光寺に上がって、その後何も説明会も開かれないまま、今度は統廃合の案が出てきて、本当に困惑している。子供も今日一緒に来ているが、大人への信用がなくなっていると思う。令和7年度が約束事項だと先ほど言われたが、そういった約束をした覚えもないし、全く白紙のまま千光寺に上がって、ようやく子供たちが今の環境</p>

	<p>で落ち着いてきたところ。やっぱり引っ越しした当初、通学時間の出る時間とか、帰ってくる時間も違ったりとか、習い事の関係もあったりして、やっぱり慣れるのに1年以上かかった。そういったことも踏まえてないのか分からないが、あまりにも転校や移動が多すぎて、とても子供たちのことを考えていると思えない。以前説明会で、地域から数人、学校選択制で他の地域に行ってしまうと、その地域に悪影響が出ると説明会で前教育長がおっしゃったが、今度土堂小学校には、土堂小学校の学区に学校がなくなるということは、どういうふうな影響が出ると考えているか。土堂小学校の学区自体に学校が無くなることを、どういうふうに考えているか。</p>
<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>教育委員会としては、子供たちの教育環境を整備していくということで、これまで学校再編を行ってきた。これは土堂だけではなくて、これまで私たちの統合案に賛同していただいたというか、そういった例えば北部であれば、木頃、原田、木ノ庄西、木ノ庄東、これらの学校についても、学校がなくなることについて不安を抱かれていたと思っている。土堂小学区から学校がなくなることの影響については、私たちとすれば、地域の思いや願いのある、これまで歴史のある学校なので、様々地域の方からすれば思いもあるとは思いますが、それ以上に今後の子供たちのことを考えて、ある程度の学級規模の中で子供たちの教育を充実させていきたいということの方が大きいということなので、こういった提案をさせていただいている。</p>
<p>土堂小学校保護者7</p>	<p>学校規模ということだったが、結局将来的には複数学級ではなくて、1クラスになるかもしれないし、その答えは答えとしてふさわしくないと思うが。地域の方への説明会は開かれたのか。</p>
<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>地域への説明会については、これまでも答えさせていただいているように、これから地域の方へ出て行きたいと思っている。これは、ウェブとかオンラインではなくて、直接対面方式で地域の方に、まずは皆さま方に提示をさせていただいた統合案について、地域の方にもご理解をしていただく。まずはそこからスタートしたいと考えている。</p>
<p>土堂小学校保護者7</p>	<p>文部科学省のホームページに、教育委員会は、地域住民の意向を反映して行われるようにと記載されている。地域住民の意向を反映されていると思うか。</p>
<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>これまで土堂小学校の存続に向けて、様々な声や意見があるのは、当然承知している。教育委員会とすれば、今回提案させていただいた中身について、地域の方に出向いて、しっかり説明させていただき、ご理解をしていただく、そういった営みを最大限していきたいと考えている。</p>
<p>土堂小学校保護者7</p>	<p>この統廃合にあたって、協議をした内容は、どちらの方に記載されているか。</p>

<p>教育委員会事務局 (小柳学校教育 部長)</p>	<p>統廃合の協議した内容というのは、どのような中身を指されているのか。</p>
<p>土堂小学校保護 者 7</p>	<p>3校を小学校の長江、久保、土堂の3校を長江中学校に配置するようにしているが、通学路のことであったり、将来的に日比崎小学校は、土砂災害の警戒区域、特別警戒区域に大きく入っているので、あそこで建て替えはできないと思う。そうなってくると、将来的に土堂もなし、日比崎もなし、そういった状況に将来なると思うが、そういったことまで考えて計画されていると思うが、そのあたりの協議した内容を知りたい。</p>
<p>教育委員会事務局 (小柳学校教育 部長)</p>	<p>これまで内部で協議をしてきた内容については公開していないが、教育委員会会議の報告の中身であるとか、この間議会の中でもかなりの議員の方々からご質問をされて、答弁もさせていただいているし、教育スポーツ委員会の中でも適宜ご質問いただき、私どもの方で答弁させていただいているので、ある程度協議の方向性や中身については、公の場で発言はさせていただいている。ただ、今回のこういった詳細についての説明については、11月22日からがスタートとなっているので、そういったところに不信感をお持ちであるのであれば申し訳ないが、今こういった全体説明会も設けさせていただいて、少しでも私たちの提案内容について理解していただければと思って、本日も開催させていただいた。</p>
<p>土堂小学校保護 者 7</p>	<p>総合教育会議の中で、統合についての議論はしたか。</p>
<p>教育委員会事務局 (小柳学校教育 部長)</p>	<p>総合教育会議は市長が主催する会。今回の内容については、この統廃合についての議事はなかった。</p>
<p>土堂小学校保護 者 7</p>	<p>この案がベストであるという確証が全くもてないので、もっと透明性をもって、ホームページもあるので、市議会議員と話した内容やこういった計画に至った経緯を細かく記載してください。お願いします。</p>
<p>教育委員会事務局 (司会)</p>	<p>時間になったので、あと1名。あと2人。3人。一人一問ずつで。</p>
<p>土堂小学校保護 者 8</p>	<p>すみません。一人1問ずつという縛りはとってもらいたいのだが。大事なことだと思うので。</p>

<p>教育委員会事務局（司会）</p>	<p>分かりました。では、簡単に。</p>
<p>土堂小学校保護者 8</p>	<p>しょうもない質問を含めてなんだが、令和7年4月から開校式ということで、中学校とか新しい所に行き、校舎の建設はいつから始まるか。</p>
<p>教育委員会事務局（石川庶務課管理係長）</p>	<p>説明の中でもスケジュールをお示ししたが、設計というものを令和5年から6年。令和7年度になったら、同じ敷地・・・。</p>
<p>土堂小学校保護者 8</p>	<p>令和7年のいつからか。</p>
<p>教育委員会事務局（石川庶務課管理係長）</p>	<p>工事の契約を令和7年になってすぐさせていただこうかと思っている。たぶん現場が動いてくるのは夏から秋にかけてということになると思う。</p>
<p>土堂小学校保護者 8</p>	<p>うちの子は土堂小なのだが、千光寺に上がって大きく環境も変わって、今度たぶん中3の時期に、工事が始まると思うが、環境も変わる中で工事も始まって、大事な進路選択を迫られる中3の時に工事が始まるということだが、子供たちを大事にするという観点で言うと、保護者からの立場から言うと、大事にしているのかと思うが、いかが考えるか。教育長でもいいし、学校教育部長でもいい。</p>
<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>子供たち、中3の時期に大事な入試を控えているということで・・・。</p>
<p>土堂小学校保護者 8</p>	<p>まあ、入試というより進路選択。</p>
<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>進路選択を控えているということで、心配されるということは、当然認識している。ですから、安全対策等もしっかりさせていただきながら、どこかの段階では、校舎を新築させていただくわけなので、どこかの段階ではそういった営みをさせていただかないといけないので、その際には、安全対策も含め、しっかり子供たちが通常の教育活動をできるように配慮していきたいと考えている。</p>

土堂小学校保護者 8	<p>どういう配慮か。</p>
教育委員会事務局（小柳学校教育部長）	<p>それは、子供たちに心理面とか、通常の教育活動ができるように運動場や体育館の確保とか、教育内容について、子供たちのメンタル面の・・・。</p>
土堂小学校保護者 8	<p>メンタル面の配慮というのは、どういうふうな配慮か。</p>
教育委員会事務局（小柳学校教育部長）	<p>これは、説明の中でも申したが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置させていただいたり、養護教諭を中心とするものもあるが、何よりも一番身近にいる学級担任を中心とした組織体で子供たちを見ていくことが何よりだと思っている。</p>
土堂小学校保護者 8	<p>そういう配慮は、千光寺に上がった時もされているのか。</p>
教育委員会事務局（小柳学校教育部長）	<p>これは、千光寺というか、仮校舎に上がる時に保護者の方々と約束したように、子供たちのメンタル面ということで、スクールカウンセラー・・・。</p>
土堂小学校保護者 8	<p>スクールカウンセラーは、月にどれくらい在駐しているか。</p>
教育委員会事務局（小柳学校教育部長）	<p>これは、長江中学校区を基本としているので、小学校は月に約1回。</p>
土堂小学校保護者 8	<p>1回ですよ。それでメンタル面を保障されたと考えているのは、ちょっとずれていると思う。この質問はいい。今度新しい学校を創るとして、パンフレットにいろいろ書かれているが、尾道スタンダードとして市内全体に広げていくということだが、今度新しい学校が、引っ張っていく学校ができるが、その後、この学校に当然行きたいと思う子供も尾道市内たくさん出てくるし、尾道市としても当然これは売りにしていくと思う。そうなった時に、ここの学校に学校選択として行きたいという生徒を募集するということを考えているか。</p>
教育委員会事務局（小柳学校教育部長）	<p>学校選択制度については、平成30年度に見直しをさせていただいて、今の現に入学してくる子供たちを算出して、10人または5人ということでさせていただいている。この制度の見直しに基づいて、今後も</p>

育部長)	この方針のもと続けていきたいと思っている。今の段階で確定と申し上げることはできないが、当然新しい学校も今ある小中学校と同様に学校選択制度を運用していきたいと考えている。
土堂小学校保護者 8	だから、今魅力ある学校を創ったとしても一部の子が受けられるというだけで、全体の生徒が受けられるわけではないということは、結果的に先ほどから話題になっているように、子供の数は全体で減っているということは、ここの学校の今2学級、複数学級という話をしているが、減っていくのは目に見えている。土堂小学校とか今の制度でいって、人数、長江小学校も減らしていって、それは統廃合にもっていかうとしているようなもの。減っていく。希望している生徒がいても行かないわけだから。行かせないわけだから。それとまた今度同じことが、新しくできた学校でも起こりうるというようなことは、素人目に見ても見えるが、それでも新しい学校は創るのか。
教育委員会事務局 (小柳学校教育部長)	学校選択制度についてだが、長江小学校は誤解をされているかもしれないが、これまでも5人または10人でさせていただいている。土堂小学校が一時期40人という募集をかけていたが、これについては、様々なご意見をいただくなかで、平成30年度の見直しに至った経緯がある。今後については、学校選択制度が、学級の人数、学校の児童生徒数増を目的とするものではなくて、やはり学校の特色に魅力を感じて入学していただく、また、そういった6年間その学校で学んでいただくことを前提とした制度なので、子供たちの人数を増やすための制度ではないということは、平成30年度の時に改めて整理をさせていただいて、市民の方からもそれは受け入れられているものだと認識している。
土堂小学校保護者 8	今の6年生が入る時は、今の長江中学校も希望が多かったと思うが、それは知っているか。
教育委員会事務局 (小柳学校教育部長)	長江中学校について・・・。
土堂小学校保護者 8	ごめんなさい。長江小学校。
教育委員会事務局 (小柳学校教育部長)	長江小学校については、多くても10人枠だったと認識している。それ以上のものはこれまでやっていない。

土堂小学校保護者 8	希望される方は10人を超えていなかったか。
教育委員会事務局（小柳学校教育部長）	希望数のところまでは、今のところ記憶にない。
土堂小学校保護者 8	もうちょっと勉強してください。それと新たな学校スタンダードとして市内全体に広げていきますという、この知・徳・体・信頼というところだが、これをベースとした学校をつくっていかれるという認識で間違いないか。
教育委員会事務局（小柳学校教育部長）	現在皆さんにお示しているパンフレットがベースになるという認識で、教育委員会として案をつくらせていただいている。
土堂小学校保護者 8	これから学校経営目標とかをつくって行って、実際のカリキュラム等ができていくという感じか。
教育委員会事務局（小柳学校教育部長）	これは教育委員会の思いを込めたものなので、今後、学校の教職員、それから教育委員会で学校教育目標等、具体的なものについて決定していきたいと思う。
土堂小学校保護者 8	書いてある知・徳・体・信頼、いろいろ書いてあるが、尾道スタンダードとしてこれからつくっていく教育という認識だと思うが、平成7年、平成9年に校舎もかわっていくということだが、いや、令和7年、令和9年。その頃というのは、ここに書いてあることは、普通にどこの学校でも行われるものではないのか。今、これを行われていなかったら、尾道市どうかしとるよという話になるのではないか。
教育委員会事務局（小柳学校教育部長）	これは、尾道スタンダードとして、市内全体に広げている中身。今、私たちが考えている新しい学校、これらを全て網羅している学校にしていきたいということで、全ての内容が今の学校で必ずしも十分な教育環境になっているというものでもない。
土堂小学校保護者 8	というか、これ新しいときつきから言われるが、新しいのか。
教育委員会事務局（小柳学校教育部長）	学校の体制とすれば、小中一貫教育校ということで新しい枠組みになる。教育内容については、これまでの教育内容、資源、小学校でやってきたもの、中学校でやってきたもの、それに加えてこれまで市内の中

育部長)	で様々に分散していた人的資源とかをこの新しい学校に・・・。
土堂小学校保護者 8	そういうことを言っているのではなくて、ここに書いてあることは令和9年くらいになると、どの学校でも普通にやっていないといけないことなのではないかという質問なのだが。
教育委員会事務局 (小柳学校教育部長)	十分ではないかもしれないが、各学校がやっていくというのが、国の方向性でも示されていると思います。
土堂小学校保護者 8	ですよね。ということは、新しい小中一貫教育をする新しくできる学校の売りだと書くのは、ちょっと違うのではないかと思う。
教育委員会事務局 (小柳学校教育部長)	この部分については、保護者の皆様に知っていただくとともに、これまで全てが学校でできているわけではないので・・・。
土堂小学校保護者 8	ではなくて、令和9年くらいになったら、どこの学校もやってないといけないことではないかということを行っている。だから、この学校が開校する時に新しい取組だという話ではない。
教育委員会事務局 (小柳学校教育部長)	確かに令和9年度あたりになると、尾道市内も全ての学校がたぶんコミュニティ・スクールになっていると思う。ただ、小中一貫教育校という枠組みというのは・・・。
土堂小学校保護者 8	枠組みと言うのが新しいスタイルということか。
教育委員会事務局 (小柳学校教育部長)	まずは新しい教育のスタイルだということは、前面に掲げさせていただいているところ。
土堂小学校保護者 8	だったら、もう少しそういう風には書かないと、ここの学校だけすごいことをするのではないかなと、我々は思ってしまう。それと、それを令和7年から始めるとすると。令和5年9月や令和6年から学校経営目標を制定したり、カリキュラムを作成したりということになっていって、今度は先生が実際に授業をできるようになっていくとすると、本当に令和7年からできるとお考えか。閉校の処理もしないといけない。新しい学校の準備もしないといけない。授業もちゃんとしていかないといけない。今、目の前にいる子供もちゃんと見ていかないといけない。これ相当なことだと思う。この日程でいけるぞというふうに、本当にお

<p>教育委員会事務局 (小柳学校教育 部長)</p>	<p>考えなのかどうなのかなというのがすごい疑問。</p> <p>現在のところは示させていただいている案でもいけるのであれば、これでいきたい。ですから、1年半という短期間の中で様々なことを決めていかないといけないと思うが、教育委員会の様々なことを学校とも調整をさせていただいて、令和7年4月から新しい学校がスタートできるように準備させていただきたいと思う。</p>
<p>土堂小学校保護 者8</p>	<p>いきたいではなくて、いけるとお考えかと聞いている。</p>
<p>教育委員会事務局 (小柳学校教育 部長)</p>	<p>いけないものを提示させていただいていないので・・・。</p>
<p>土堂小学校保護 者8</p>	<p>では、いけるということ。</p>
<p>教育委員会事務局 (小柳学校教育 部長)</p>	<p>自分たちとすれば、できるものと考えて提示させていただいている。</p>
<p>土堂小学校保護 者8</p>	<p>で、結局、いけるという言葉でちょっと安心したが、いけるということで、実際目の前にいる子供の先生方はとてもよくしてもらっている、日頃。そこまで面倒見てくれるんだという。その部分も継続しながら、これだけのことが1年半でできるということか。これ、結構大きいことだと思うが。</p>
<p>教育委員会事務局 (小柳学校教育 部長)</p>	<p>これは本当に大きな変革なので、1から作り上げないといけない部分もあると思うので、相当な覚悟をもってやらないといけないと思っている。</p>
<p>土堂小学校保護 者8</p>	<p>覚悟とかはいらない。できるんですね。では、もう既に9年間の連携をとりながらやっている学校は、世の中にあると思うが、そういうところも既に研究されて、先生方がそういう研修や教育内容を決めていくというのも結構進んでいるということか。</p>
<p>教育委員会事務局 (小柳学校教育 部長)</p>	<p>先進校についてとか、先進的な教育委員会については、視察もしているし、私たちで、尾道市としてどのようなものがふさわしいのか検討段階に入りつつあるという状況。先生については、具体的な研修というのはまだ。統合が決まっていないので、正式には当然できていないが、今</p>

	<p>後のもしこの統合案が進むのであれば、どのようなスケジュール感で、どんなことを先生方に協力していただかなければいけないかということは、私自身も学校を回らせていただいて、説明した。</p>
<p>土堂小学校保護者 8</p>	<p>分かりました。そういう覚悟があるというのであれば、令和7年4月から動かしたいという気持ちはあるが、実際問題どうなるか分からない部分もあるということか。</p>
<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>実際問題分からないというのは、教育内容とか学校運営ということか。</p>
<p>土堂小学校保護者 8</p>	<p>はい。</p>
<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>学校運営については、4月からきっちりとした学校運営ができるように様々なことを調整して、令和7年4月からスタートできるようにする、これが私たちの務めだと思っている。</p>
<p>土堂小学校保護者 8</p>	<p>1年半でですね。</p>
<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>そうです。</p>
<p>土堂小学校保護者 8</p>	<p>分かりました。もう一つ最後に聞きたいのだが、昨年11月22日のところで、そういう発表があって、その時点で中学校をどうするかという話になって、はっきり言って、もうそこから中学校受験ができるわけでもなく、他の学校を選ぶのであれば言ってくださいというアンケートが来たが、実際にならないといろんなものが出てこない。子供のことを考えてくださっているのは、よく分かるが、本当に子供のことを考えているんなことが決まっているかというのは、本当に素朴な疑問。尾道市民として。これから尾道市の教育がどうなっていくのかというのは、尾道市民として危惧する。学校教育部長は、尾道市民か。個人情報なのでどちらでもいいが、尾道市、小中学校再編ということは、高校とかにも関わってくることだと思う。人口問題にも関わっていくことだと思う。なので、そういう覚悟をもって、この計画でやりますというのは聞かせてもらったが、もっと柔軟に本当に尾道市の教育がどうなったらいいのか考えて動いてもらわないと、今の現在の子供もそうだが、将来の尾道市にとっても良くないと思う。さっきの山波小学校のことについても、何年後かひよっとしたら子供が減るかもしれない。もっと</p>

<p>参加者</p>	<p>長期なビジョンで学校づくりを考えてもらわないと。いろんなことを考えられていると思うが、本当に間際になってポンと出されるとか、タイトな日程でいろんなことが進んでいく、本当は大事なのかな、大事にされているのかなという思いを保護者にもたせるというのは、やめて欲しいと思う。これはお願い。よろしく申し上げます。</p> <p>(拍手)</p>
<p>土堂小学校保護者 9</p>	<p>すみません。時間がないなか、度々発言して申し訳ないが、ちょっと気になったことがあった。さっき長江の保護者の方が、子供の負担を考えてくれているのかということで、新しいことに関して、どんどん変化が出てきて、子供が対応できないのではないかという質問があった時に、新しい学校ができる時に、新しいことをやるのは大きなチャンスだと思っていますという発言が何度かあったが、それは子供にとってのチャンスなのか。教育委員会にとってのチャンスか。チャンスだと思っていますという発言が、子供のことを考えているとはどうしても思えず、それは子供にとってはチャンスなのか。</p>
<p>教育委員会事務局 (小柳学校教育部長)</p>	<p>私たちは教育委員会がチャンスだとは思っていない。当然子供たちにとって、豊かな学び、これまでにない尾道の学びが創れるということで、子供たちにとって大変有意義なものではないかということで、こういうふうに統合の機を捉えて、小中一貫教育校構想を説明させていただいている。</p>
<p>土堂小学校保護者 9</p>	<p>申し訳ないが、自分の子供は一人なので、今3年生の子供が6年生の時に統合して、さっきも話したが、小学校も仮校舎で、中学校も仮校舎で入学して、卒業の時まで解体工事がある。ずっと変化の中で暮らしていて、申し訳ないが、チャンスとおっしゃったが、3年生の子供にとってのチャンスとは思えない。これに対して答えが欲しいのではなくて、チャンスと何度も言われたので、それを親に投げかけられても全くチャンスだとは思えない。その変化に対応できない子に自分の子がならないか、その心配しかない。あと、教科担任制を長江は理科とられているということで、土堂小学校はほとんどの教科担任をとっている状態だが、子供の負担にならないように考えますとおっしゃっていたが、もし統合した後に、今土堂小学校でとっている教科担任制、この教科が減ってしまうことになると、土堂小学校の子にとっては不利、不利というか、今までやっていたことがやらないということがないようにお願いしたい。</p>
<p>教育委員会事務局 (小柳学校教育部長)</p>	<p>これは答えがいます。</p>

<p>土堂小学校保護者 9 教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>そうですね。</p> <p>分かりました。有利とか不利とかいう問題ではない。</p>
<p>土堂小学校保護者 9 教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>それは問題ではない。ただ、今までしていたことが統合したことによってなくなるということはやめていただきたいと思う。</p> <p>そこは十分配慮していきたいと思うが、今土堂小学校が教育内容とかやられている中身が、全てそのまま、全部が新しい学校に引き継がれるということは、なかなか難しいことではないかと思う。これは、当然、久保小学校、長江小学校もやられている教育内容、教育活動もあるし、今の教科担任制をとっても様々なやり方がある。ですから、そういった3つの学校について、教科担任制一つにとっても、どういうやり方が子供たちにとって移行期にふさわしいのかということ、教育委員会と学校とでしっかりと議論していきたいと思う。</p>
<p>土堂小学校保護者 9</p>	<p>お願いします。今現状で、土堂小学校は、利便性もよくて、通いたいと思える学校だったので、たくさん応募をしても、皆さん来たいと思って選んでいただいて、それでももれる子がいた学校だったと思っている。今、1年半、令和7年度の統合を目指して、前の方も言われていたが、1年半の間でできると思っているのかという質問で、できると思いますという答えがあったと思うが、教育委員会の方は、たくさんの子供のことを考えて、いろいろ考えていただいていると思うが、現状だが、土堂小学校、みんなが通いたいと思える学校を無くし、新しい教育の学校を創るということに対して、みんなが来たいと思っていた学校を無くしてまで新しい学校を創るということに理解をしていない。実際うちの子も土堂小学校がいい学校だと思ったので、引っ越しする時に、子供の学区を考えて皆さん引っ越しをされると思うが、1歳の時から土地を探し、土堂小学校に通うために、今の土地に住んでいる。それくらいいい学校だと思ったので、選んだ。それだけの学校を無くして、新しい学校を創るとおっしゃっているので、今まであったような、やっけて当然のことを掲げて、学校を創るということに対して、ちょっと理解できない。これは返事がなくても、私が理解してようが、理解してまいが変わらないと思うので、私の思いを伝えたまで。</p> <p>あと、前回いただいた質問と回答の中で、私も質問したが、何をもって合意をするのか、その合意の基準を知りたいというので、質問番号25番だが、これは議事録の中でも何度か言われていると思うが、「機運が高まったことが合意であると考えており、最終的には教育委員会として判断する」とあるが、その機運が高まるというのが、「以前よりも様々な条件がそろって、物事を行うのによい状態となっていること」という</p>

のが、機運が高まるということなのだが、この機運が高まるのを「教育委員会として判断する」と書いてあるのだが、ここは、きちんとしたアンケートだったりとか、保護者の意見というのを聞いて進めていただきたいと思う。実際、千光寺グラウンドに上がる時に、この会場で説明会をしていただいた時に、今日と同じだが、質問をしたい方がまだまだいたにも関わらず、時間の関係で、あと一人でお願いしますということで、質問も切られ、そのまま通学支援の話になり、通学支援の話は実際、しないと、通いますよということになった時に、話合いに参加していなければ、合意とみなされても仕方ないので、参加もした。が、その後、通学の話と千光寺グラウンドに上がる合意との話とは全く別物だと思っていたのに、通学の話が終わった途端、じゃあ上がりましょうということになり、上がらせられたと思っている。今回は、その時と同じようなことがないようにしていただきたいと思う。通学路の話が進んで、みんながどんどん協議に参加して、みんなが話合いに参加をしたので、そこで機運が高まったという判断はやめていただきたいと思う。きちんとしたアンケートをとっていただいて、合意をしているのかしていないのか数をきちんと出していただきたいと思う。

教育委員会事務局
(小柳学校教育部長)

分かりました。何をもって合意とするのかというのは非常に難しい問題で、私も意見交換会などで何度も答えさせていただいたが、一つは機運が高まるという曖昧なことを言わせていただいたが、私たちで言うと、今回6つの学校が該当しているが、その中の過半数が前を向いて進んでいくから、そういう統合への判断をしようとか、そういう考えはもっていない。6つの学校の一体感を醸成して新しい学校を創っていきたく思っているので、全ての学校の保護者、または地域の方にご理解をしていただければということで、最大限説明をつくしていただきたい。ただ、賛成の方もいらっしゃると思うので、その方々をいつまでもお待たせすることにもできないと思うし、逆に私たちの案について、ご理解いただけない方もいらっしゃると思うので、両方の考えを尊重しなければならないということも思っている。ただ、いつまでもお待たせすることもいけないということもあるし、どこかの段階で教育委員会として決断をしていかないといけない時期が来ると思っている。その際、判断材料として、保護者の方がどのように認識されているのか、地域の方がどう認識されているのか、調べる方法というのは様々あると思う。今、こういった調べ方をしますというのは言えないが、PTA会長さんとも相談をさせていただいたり、地域の役をされている方等とも連携をさせていただきながら、こういった判断材料で私たちが決断させていただくのか、今後考えていかななくてはならないと思っている。

土堂小学校保護者9

ありがとうございます。では、もう一つだけ、ごめんなさい。質問ではないが、千光寺グラウンドに上がる前の説明会の時に、「通学問題が解決したのであれば、大筋で合意をいただけたと思っています。」と教育長が言われたが、質問を最後に切った後に言われたと思う。今、3年生、アンケートは2年生の時だったかもしれないが、今の3年生のクラ

<p>教育委員会事務局（司会）</p>	<p>スのデータでしかないが、32人生徒がいる中で賛成が2人、無回答が1人、それ以外が全て反対の状態だった。それでいて、アンケートも一度も取られない状態で、通学方法の話をした時点で、じゃあ上がりましようと言われたのは、とても不信感を抱いている状態なので、今回はやめていただきたいと思う。よろしくお願いします。以上。</p>
<p>土堂小学校保護者10</p>	<p>では、あと2名の方、どちらか。</p> <p>手短かにお伺いする。1月24日の育友会執行部の説明会の最後に、学校経営企画課の課長が、もうこれ以降の全体アンケートはとらないとおっしゃっていたと思うが、今日の説明会を踏まえても、それは変わらないことなのか。また、それはなぜか。</p>
<p>教育委員会事務局（三浦学校経営企画課長）</p>	<p>1月24日の育友会とPTAの役員との意見交換会において、先ほどから話題に出ておりますQ&Aの基にあるアンケートだったと思うが、オンラインの説明会を行って、それに対してのご質問とかご意見を一回伺った。それに対して、回答をお配りして、その回答に対するご意見ご質問をアンケートという形式で伺った。ですので、こういった形でご意見ご質問の回答は、一旦終わらせていただきたいという意味で申し上げたが、今こうして対話形式で会をもたせていただいて、この後、また役員との意見交換会の話の中で、そういった話をする中で、なんらかのということがあれば、それはどういう方法かは分からないが、それは全くしないということではなくて、協議をさせていただきたいと思う。</p>
<p>土堂小学校保護者10</p>	<p>あまり11月にいただいた統廃合案から、内容が進展していないように思うので、質問数が減るのは当たり前だと思うし、新しいことが出てきたら、その都度出していただいて、全体に確認していくのが一番親切な協議だと思うので、その点はぜひよろしくお願いします。今後は、保護者説明会は、こういった対面では予定されていないか。新しい内容が出てきたことに対して、こういう対話形式の説明会は行われるか。</p>
<p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>今回対面式のこういう会をさせていただいて、大変有意義な意見交換をさせていただいていると思っている。今後の地域に出てたりする中で、こういった話の方向性になるかということもあるし、少しでも保護者の皆様のご理解、それから懸念材料を払拭するという意味からもすると、もしかすると必要になることもあるかもしれない。ただ、今の段階で、もう次の対面式の説明会を考えているということは、今は申し上げることはできないが、状況次第によれば、考えていかなければならないと思っている。</p>
<p>土堂小学校保護者10</p>	<p>3回資料が配られて、3回とも同じ資料で進展ないというのが正直な感想だし、先ほどの方がおっしゃられていたが、この尾道スタンダードという内容は、既にされている内容ばかりというか、当たり前の学校</p>

<p>教育委員会事務局（司会）</p>	<p>運営の内容だと思うので、新しさもないし、そこを新しくというところでチャンスだとおっしゃられたので、そこは何が特色なのかきちんと示していただかないと、納得いかないかなと思う。もちろん安全面に関してもきちんと示していただかないとうんと言えないので、子供のことなので。なので、ぜひよろしくお願いします。以上。</p>
<p>土堂小学校家族 11</p>	<p>最後の方になるが、よろしくお願いします。</p> <p>一部の方にも出たが、一部二部と話を聞いていて、とても問題を感じたのは、コミュニティ・スクールという言葉が何回も出たが、皆さんと共有するためにちょっと読んでみる。「コミュニティ・スクールは、学校と地域、保護者の皆さんが、ともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協議しながら子供たちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりを進める法律に基づいた仕組みです。」と書いてあるが、今回の教育委員会の地域の、地域と言うか学校の統廃合に関するこういった案を提案してくださっているが、地域や保護者、学校の先生方の意見を聞く、建設的な場を設けない中で、1年半経って急に提案してくださっているというのは、このコミュニティ・スクール、土堂小学校は、今回の学校再編成の中で唯一コミュニティ・スクールだが、コミュニティ・スクールなのに、地域の意見をちゃんと聞いて、そこで地域、保護者、学校、教育委員会の皆さんと建設的な意見を交わしながら、進めていくという形がとられていないのが、とても一番大きな問題だと思っている。そして、コミュニティ・スクールという選定を受けているために、学校運営協議会という組織が土堂小学校にはある。しかし、この学校運営協議会が、全く機能していないのではないかと知っている。なぜかと言うと、ここのメンバーに選ばれた皆さんの中で話を進められている時に、今回の土堂小学校の統廃合に関して、「私たちはなんとかしたい。残したい。」ということとその場で教育委員会から出向いていらっしゃる方に伝えたところ、何と言われたかと言うと、「私は担当が違うので分かりません。それにお答えすることはできません。」と言われた。その時に、そこに出席されていた学校運営協議会のメンバーの皆さんは、教育委員会の意思の疎通が全く図れていない、こんな大きな問題を、そこで出席されている方が、担当が違うので分かりませんで済まされたことに対して大変ショックを受けられていた。そして、また別の会の時に、この大きな問題が出ているので、この場に教育長に出席していただいて、説明してほしいという要望も出したが、教育長が、この学校運営協議会の会に出て、統廃合のことについて、地域の皆さん、心配してくださっている皆さんの、このメンバーにしっかり説明してくださったこともない。こういう状況で、コミュニティ・スクールとしての土堂小学校、本当にこのまま進めてもいいのか。もう一回しっかり地に足をつけて、新しい学校を創ることありきではなくて、今の土堂小学校の皆さん、土堂小学校の教育は豊かな教育で、とても満足している。それを崩してまで新しい学校を創っていこうという、本当にスケジュールありきの教育委員会の進め方に大変不信</p>

<p>参加者</p> <p>教育委員会事務局（小柳学校教育部長）</p>	<p>感と疑問をもっている。もう一回じっくり時間をかけて、地域と保護者と学校の先生方と交えながら、もっと建設的な意見を交わして進めていく時間をいただいてもよいのではないかと思う。土堂小学校、学校運営協議会、この協議会も巻き込んで話をしてもよいのではないかと思う。土堂小学校が、コミュニティ・スクールである意義が全く感じられない。本当に子供たちのことを考えるのであれば、ここからスタートしてほしいと思う。この提案を一から建設的に意見を交わしながら進めていくという形に変更してほしいと思う。そして、一部の方で、担当の教育委員会の方が言われたが、新しい学校を創る場所を選定する時の話をされたが、その時の言葉で、「パズルを完成させるにはこの方法しかなかった。」と言われた。子供たちのことを考えている中で、パズルを完成させるという言葉があるか。私はとても悲しく思う。本当に、子供たちの豊かな教育環境を考えるのであれば、そんなパズルという言葉がここに出てくること自体ないと思う。そして、私たちは、とても豊かな子供たちの教育環境を土堂学区、市民というか、土堂学区のみなさんと築いてきた。なので、この豊かな子供たち、豊かな教育を、先ほどの方も言われていたが、これ以上のものを創ってくださるということを確認をしてくださるのであれば、私たちは進んでいきたいと思うが、今、子供たちに土堂小学校では豊かな教育を、先生方、地域、保護者と協力して築き上げてきた。これを崩していく、今の教育委員会の提案からは認められない。悲しいことではあるが。そして、一部で私が言った、子供たちの通学路の安心・安全、この部分をしっかり具体的な策を私たちに示していただかないと、納得できないので、次回の説明会では、通学路の安心・安全の新しい形をきちんと具体的に示していただきたいと思う。よろしくお願いします。</p> <p>（拍手）</p> <p>18：57～</p> <p>5 閉会挨拶</p> <p>お忙しい中、保護者説明会に参加していただきましてありがとうございます。本日は、11月22日に提案させていただいた学校再編の内容、そして、これまでの経緯や今後のスケジュール案等について説明させていただき、その後、質問やご意見をお受けしました。</p> <p>参加されている皆様からは、やはり通学対策、それから長江通りの安全対策や子供の荷物の重量の問題等も出されました。また、複数学級化についてのご質問や小中一貫教育についてのご質問、子供たちの気持ちに寄り添って、様々なことを考えていただきたいというようなご意見をいただいた。</p> <p>本日いただいたご意見等を参考にさせていただきながら、第3回意見交換会の準備を進めていきたいと考えております。また第3回意見交換会の後には、各地域での説明会を開催させていただき、地域の皆様にもご理解していただけるよう説明をまいります。</p> <p>教育委員会としては、小中一貫教育校構想、尾道の学校教育をリード</p>
--------------------------------------	--

していくことができる学校、子供たちが切磋琢磨しながら、生き生きと学ぶことができる学校、子供たちの夢の実現や社会的自立に向けた土台づくりができる学校を、未来を担う子供たちのために強い思いをもって実現させたいと思っております。

本日はお集まりいただき、ありがとうございました。

18:59 終了